

令和5年度 小樽市立奥沢小学校 全体懇談会

令和5年4月13日、14日、17日

グラウンドデザイン

R5重点目標

みんな笑顔で
ぽっかぽか
進んで行動
奥沢の子

「夢をはぐくむ奥沢小学校」の実現

令和5年度 奥沢小学校グラウンドデザイン

学校教育目標 : 夢をはぐくむ奥沢小学校
深く学び伝えあう子 なかよくやさしい子 たくましくやりぬく子

重点目標 : みんな笑顔でぽっかぽか 進んで行動 おくさわの子

めざす子ども像 ●自ら学び、自ら表現(あいさつ)し、ねほり強く取り組む。
●自分のよさを発揮し、お互いに認め合い、高め合う。

学校経営の重点: 組織を機能させ、協働して持続可能な「奥沢スタイル」を確立する

- 子どもが主役の学校づくり
- 家庭・地域・中学校と連携する学校づくり
- 教職員が協働の意識を高め、保護者地域の信頼に応える学校づくり

キーワード : 協働・連携 ほめる・認める・価値づける

目指す学校づくり

- ◆安心・安全・信頼
- ◆組織的・協働的・機動的(感染症対応)
- ◆ICT等の環境整備、積極的活用
- ◆教育の質の向上
※業務のスリム化・効率化、教科担任制等
- ◆小中一貫教育の推進

目指す教師像 ※教師自らあいさつ!

- ◆教育公務員としての自覚、責任
- ◆ほめる、認める、価値づける姿勢
- ◆厳しく毅然とした態度
- ◆積極的な研修会への参加
- ◆3月の具体的な子ども像をイメージした学級経営

学びづくり

- ①確かな学力の育成
・奥沢スタイルの授業づくり
◎主体的・対話的で深い学び
・算教科を柱にした校内研修
・基礎基本と学習規律の徹底指導
・補充学習と学習習慣の確立
※タブレット等ICT機器の積極的活用
- ②特別支援教育の充実
・ユニバーサルデザインの推進
・個別指導計画・支援計画の活用
・校内組織の活性化・関係機関との連携
- ③国際理解教育の充実
・外国語科での外部講師の活用
- ④理数教育の充実
・個に応じた指導の充実
・専科教諭の活用
- ⑤情報教育の充実
・情報モラル教育・プログラミング教育
- ⑥キャリア教育の充実
・外部講師、施設の有効活用

心づくり

- ①コミュニケーション能力の育成
・対話を取り入れた授業づくり
・意図的・計画的な表現の場づくり
- ②道徳教育の充実
・考え議論する道徳の授業づくり
・情報モラル教室・人権教室等の実施
- ③ふるさと教育の推進
・外部講師や施設を活用した体験学習の重視
・「小樽の歴史」等の有効活用
- ④読書習慣の確立
・朝読書、図書館整備等の実施
・市立図書館との連携
・図書ボランティアの活用
- ⑤いじめ防止・不登校支援の充実
・いじめ防止キャンペーンの実施
・「まっと」を活用した児童理解の強化
・児童会主催の取組(あいさつ運動等)
- ・s s w、s cとの連携

体づくり

- ①体力・運動能力の向上
・新体力テストの実施と有効活用
・運動量確保を目指した授業改善
・外遊びの推奨と遠足等の実施
- ②食育の推進
・栄養教諭を中心とした授業づくり
・知産志食の取組
・保護者と連携した望ましい食習慣の育成
- ③健康教育の推進
・薬物乱用防止教室等の実施
・アレルギー対応の情報共有
- ④学校安全教育の充実
・感染症対策の徹底
・防災訓練、防犯教室等の実施
・集団下校訓練の実施
・安心メールの有効活用
・校内・校区内の危険個所の把握

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)
～ 保護者・地域によるボランティア活動 ～

図書ボランティア 安全ボランティア 学習ボランティア 行事ボランティア

奥沢小学校の子どもたちにもっと育てたい**資質**や**能力**

自分から進んで

**考える！
発表する！
行動する！
など・・・**

- **自ら表現**
- **粘り強く
取り組む**

良いところはたくさんありますが...

奥沢小学校の子どもたちに もっと育てたい**資質**や**能力**

ぽっかぽかになるために

自己肯定感を
高める

自分のよさを発揮する！
友だちのよさを認める！
互いに高め合う

など・・

そのためには、

① 進んで考えたり、行動したり、
表現したりする場面を意図的に作り出す
インプットからアウトプット重視へ

② 褒める 認める 価値づける
自己肯定感の向上へ

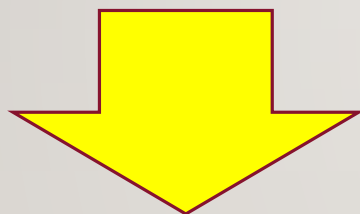
自分は
認められている
よいところがある
誰かの役に立って
いる



成功体験を積み重ね、自信を持たせる

保護者アンケート結果 からの課題

家庭学習習慣の定着



進んで行動
自学自習の習慣化

評価項目		ABCDEの割合			R4	R3	R2
◆情報提供について					3.47	3.47	3.57
1	学校は、学校便り、学級通信、保健便り、ホームページなどにより学校の教育方針や教育活動の様子を知らせている。	A	67	47.4 %			
		B	65	50.4 %			
		C	2	1.5 %			
		D	1	0.8 %			
		E	0	0.0 %			
◆学力の育成について					3.41	3.28	3.50
2	学校は、子どもたちに基礎学力が身につくように、授業の工夫や個に応じた指導、放課後学習などに努めている。	A	55	41.4 %			
		B	64	48.1 %			
		C	3	3.0 %			
		D	1	0.8 %			
		E	7	6.8 %			
◆豊かな心の育成について					3.32	3.17	3.40
3	学校は、一人一人が大切にされ、互いに認め合える学校づくりに努めている。	A	46	34.6 %			
		B	65	48.9 %			
		C	4	3.0 %			
		D	2	1.5 %			
		E	16	12.0 %			
◆健やかな体の育成について					3.23	3.23	3.40
4	学校は、体力向上が図られるよう、体育や食育の授業を中心とした指導の充実に努めている。	A	40	30.1 %			
		B	70	52.6 %			
		C	10	7.5 %			
		D	1	0.8 %			
		E	12	9.0 %			
◆家庭・地域との連携について					3.45	3.40	3.67
5	学校は、安心メールや個人懇談等を活用し、家庭と連携し、子どもの安全を守るために努力している。	A	63	47.4 %			
		B	61	45.9 %			
		C	5	3.8 %			
		D	0	0.0 %			
		E	4	3.0 %			
◆自己有用感の育成について					3.29	3.16	3.28
6	お子さんは、自分にはよいところがある、自分が大切にされて必要とされていると感じる心、誰かの役に立ちたいと考える心などが育っている。	A	46	34.6 %			
		B	69	51.9 %			
		C	8	6.0 %			
		D	1	0.8 %			
		E	9	6.8 %			
◆基本的な生活習慣について					3.28	3.09	3.35
7	お子さんは、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣が身に付いている。	A	57	42.9 %			
		B	59	44.4 %			
		C	14	10.5 %			
		D	3	2.3 %			
		E	0	0.0 %			
◆家庭での学習習慣について					2.54	2.55	2.60
8	お子さんは、家庭での学習習慣(学年×10分+10分)が身に付いている。	A	21	15.8 %			
		B	46	34.6 %			
		C	48	36.1 %			
		D	17	12.8 %			
		E	1	0.8 %			

令和の日本型教育が目指すもの

個別最適な学び

○ICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備等、「個に応じた指導」の充実

協働的な学び

○探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら持続可能な社会の創り手の育成

特に身に付け
させたい力

「文章や資料等を正確に読み解く力(読解力)」
「条件に応じ論理的に文章を書く力(記述力)」

「主体的・対話的で深い学び」の実現

保護者の皆様へのお願い①

学校への車の乗り入れについて

- ・登校時の車の乗り入れ原則禁止です。
- ・**午前8時～8時30分**は、ご厚意によりココカラファインの駐車場を開放していただいておりますので、そちらを活用願います。
それ以外の時間帯は、買い物以外では使用しないでください。

保護者の皆様へのお願い②

自転車の安全指導について

- ・自転車による事故が増えていますので、ご家庭においても、安全な乗り方についてご指導ください。
- ・4月から道路交通法の一部改正により、**全年齢でのヘルメット着用が努力義務**となりました。
- ・北海道自転車条例により、**自転車賠償保険等の加入についても、努力義務**となっています。



**今年度もよろしく
お願いいたします**

ご清聴ありがとう
ございました。